

別添2

日本制御株式会社



事業概要	ソフトウェア住宅開発
所在地	〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台3丁目2-11 (関西文化学術研究都市)
電話番号	0774-95-0201
URL	http://nseigyo.co.jp/
代表者名	西岡 哲嗣
設立	1984年5月
資本金	1000万円
従業員数	10名
売上高	98百万円(平成28年度)

(1)経営理念又は代表者メッセージ

弊社は、マイコンを使用した各種制御装置の組込みソフトウェア開発を専門としている会社です。

クライアントの機械設計者や回路設計者とともに、血液や尿の成分分析等の医療用計測器、通信機能を有するFA機器や各種端末装置等の開発等に携わっており、1984年の創業以来、クライアントの依頼で開発した各種の制御装置は80品目以上にも及びますが、蓄積しつつある技術ノウハウを駆使し、今後は自社開発も視野に入れ、社会に技術貢献できる会社に成長することを目指しております。常に自己研鑽に励む技術者集団と



(2)技術・製品(事業)の特長

①技術(事業)内容

様々な分野の制御系ソフトウェアの開発およびコンサルティングを行っています。状態遷移図・状態遷移表を用いたマトリクス制御型のソフトウェア構造設計手法を用い、アセンブラ言語・C言語・Visual Basic言語によりプログラミングを行います。

①仕様分析&検討

開発するソフトの仕様を決定します。大部分はお客様が決められますが、ご要望によって私たちが考える場合もあります。最終的なお客様である、エンドユーザーにとって使い

②システム基本設計

要求仕様を実現するシステムの設計を行います。ソフト開発方針の決定に際して、お客様との意見・情報交換を行います。エンジニアは各分野のスペシャリストであるお客様の依頼を円滑に進めるため、その分

③プログラム設計

システムを構成するソフトウェアの設計を行います。設計者とプログラミング担当者が異なる場合も多いため、設計資料は、設計担当者以外の人が見ても容易に理解できるように作成します。

④プログラミング

設計資料をもとに、プログラミングを行います。実際にはソフトウェア設計が完了したものから、プログラミング担当者へ資料が渡されるため、ソフトウェア設計とプログラミングの作業は並行して行われることとなります。

⑤デバッグ・テスト

プログラムが正しく動作するかテストを行います。日本制御では、既存のソフトウェア資産を利用する場合でも中身を完全に理解した後、利用します。

②技術の用途と機能

通信制御、計測制御装置等で、特にリアルタイム性を要求されるものに適してい

【運用実用例】

通信制御
HDLC通信ボード(RMM68K)
BSC手順通信ボード(RMM6809)
JCA手順通信ボード(RMZ80)
計測・分析機器
PH計(RMH630X)
大気汚染監視用測定装置(RMI85)
粒度分布測定装置(RMI86/88)
排ガス分析装置(RMI85)
金属中炭素/窒素分析装置(RMI86/88)
超純水中異物検査装置(RMI85)
自動血球検査装置(RMI86/88)
NC・ロボット
汎用2軸ステッピング/サーボモータコントロールユニット(RMM68K)
NC旋盤用3軸サーボモータコントロールユニット(RMM68K)
汎用機器
入出室管理装置(RMV40)
ラベルプリンタ(RMH16)
CCTVビデオ監視システム(RMH630X+RMH64180)

③特徴・強み

日本制御は、マイクロコンピュータとその応用システムづくりに精通する気鋭の技術集団です。今日まで多方面におよぶマイクロコンピュータ制御システム、特に高度のノウハウを要するプロセス制御、通信制御、機械制御、あるいは計測、監視分野で数多くのシステムを製作し、その間に「高品質、高性能のノウハウ」を企業の資産として確実に蓄積してまいりました。

システムの設計段階から、お客様と一体となって問題をひとつひとつ解きほぐしながら開発に取り組めます。

お客様のニーズに沿って、信頼性向上やコストダウンに貢献するコストパフォーマンスの高いシステムづくりに全力を注いでいます。

また、当社が開発している、制御用ソフトウェアは、パソコン用ソフトとは異なり、作成したプログラムがROMとして製品に組み込まれるため、組み込みソフトウェアとも呼ばれており、一度市場に出てからの変更は非常に困難であり、ソフトウェアには高い品質を要